

倉橋の消防施設



(4) まとめ

災害から命や暮らしを守る取組は、「公助」・「共助」・「自助」に分けることができます。消防士さんや県、呉市がしてくれる「公助」だけでは、自分の命は守れません。近所の人や地域の人たちでお互いに助け合う「共助」と、なにより、自分の命は自分で守るように、日頃から防災を学び、準備をする「自助」がとても大切です。自分を守ることで、まわりの人も助けることができます。このように、県や市で働く人たち、地域の人たち、自分と家族が、助け合いながら、できることをしていくことで、災害から命や暮らしを守っています。

ふだんから、火事を起こさないよう気をつけ、火事が起きた時にすぐ逃げられるように準備をしておきましょう。

取材協力:

呉市西消防署倉橋出張所のみなさん
呉市消防団倉橋北分団 平本さん

倉橋防災 ハンドブック 2024（火災編）



令和5年度 倉橋小学校3年生

火事は、いつ、どこでおこるかわかりません。いっしょのうちに、人の命や財産をうばってしまうおそろしいものです。自分のくらしや命を守るはたらきと、気をつけるポイントをお伝えするために、「倉橋防災マップ（火災編）」をつくりました。ぜひ、ぼくたちといっしょに考えましょう。

火災からくらしや命を守るしくみ



(1) 消防署・消防士

火事がおきると、現場にかけつけます。消火活動は、きけんなこともあります。みんなの命や財産を守る仕事にほこりをもっています。

○消防署のひみつ①「きびしい訓練」

119番を受けたときに、できるだけはやく火事の現場にかけつけ、すばやく消火できるよう、消防士はふだんから訓練をしています。防火服、マスク、ボンベなど、火事の現場と同じそびをして、はしごをのぼったり、走ってホースをのぼしたりして、真けんに取り組んでいます。自分たちが使う器具を点検することも大切な仕事です。

○消防署のひみつ②「24時間いつでも現場にかけつける」

どんなときにも、火災現場にかけつけられるよう、24時間ごとに交代で働いています。仮眠（かみん）をとる部屋や、ごはんを作る部屋もあります。

○消防署のひみつ③「関係機関と協力」

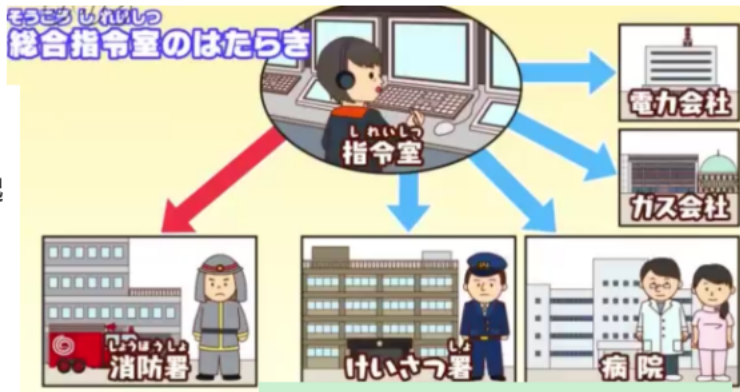
その他

・ JR

電車の近くで火事が起こるときけんだから電車を止めてもらいます。

・ 水道局

火事の消火のために水を使うことをおねがいます。



電力会社

電線からの電気のきょうきゅうを止めて火事が広がらないようにしています。

ガス会社 ガスを止め火事が広がらないようにしてもらいます。

病院

空きがあるか、かくにんしてけが人を受け入れてもらいます。

警察署

交通整理をしたり、火事の原因を調べたり、空き巣などの被害を防いだりしています。

(2) 地域で活躍！消防団

火事などの災害がおきたときに、消防署と協力しながら消火活動や救助活動をします。ふだんは、それぞれ別の仕事をしています。

「自分たちの地域は自分たちで守る。」という思いで活動しています。



○倉橋町の消防団がふだんしていること

消火に使う道具を点検したり地域の人の家を見回ったり火災の予防を呼びかけたりしています。そして、消防士さんと同じように訓練をしています。地域のお祭り（倉橋宝島フェスティバルや花火大会）などの行事でも、警備や救助活動をしています。

○火事がおきたら

火事がおこると、地域の人から知らせを受けたり、消防団室から無線機で出動の要請を受けたりします。そして、消防団員に電話で知らせ、急いで防火服を着て、消防車で現場に向かいます。消防団は地域にいくつかあるので、場所によっては消防士よりはやく現場に到着することもあります。消防士と一緒に火を消します。

(3) じぶんにできること

- ①寝タバコはぜったいにしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものをおかない。
- ③コンロを使う時は火のそばをはなれない。
- ④コンセントはほこりを掃除し不必要なプラグはぬく。
- ⑤火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロなどは安全そうちのついたものを使用する。
- ⑥火災の早期発見のために住宅用火災警報器を点検する。
- ⑦火災を小さいうちに消すために、消火き等を設置し使い方をしておく。
- ⑧防火・防災訓練への参加、戸別訪問、地域の交流等により、地域で声をかけ合って、防災対策をする。
- ⑨防災グッズを用意しておく。

